

発行日 平成25年3月15日

センター月だより

2月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	5	0	7	12
声かけ件数	894	180	206	1280
指導参加者数	63	34	32	129

(指導日誌より)

土岐地区

- ・小学生の下校に同行。おしゃべりに夢中になり2列になるので、何度も注意して整列させて下校した。見守り隊の人に挨拶しながら帰って行った。(2/5 曾木 5)
- ・男子高校生6人が、駅階段のすぐ下に自転車3台を置いて話していた。通行人のじゃまになるので、移動するように注意するが、なかなか素直に聞かなかった。(2/6 特別)
- ・三洋堂書店より小学生姉妹が出てきた。子ども達だけだったので事情を聞き、明るい所で親を待つように話した。(2/12 泉 8)
- ・陶史台公園の西側路上で、女子小学生1人がヘルメット無しで一輪車に乗っていた。路上遊技の禁止とヘルメットの着装を指導した。(2/22 下石 2B)
- ・暖かい日だったが、意外に子ども達の姿が少なかった。各高校がテスト期間中ということもあったと思われる。あいさつを返してくれる子が少なく感じた。(2/27 泉 9)

多治見地区

- ・駅一階のパン屋さんにいた小学生8名に声かけした。臨時休校のため、瑞浪から遊びに来ているとの返事だった。(2/12 昭和 4)
- ・寒い中での巡回だったが、すれ違う高校生や子ども達から気持ちのよい挨拶が返ってきて、暖かい気持ちになった。(2/12 南姫 9)
- ・駅裏の駐輪場で3人の若者が、バイクを操作しながら大きな音を出していたが、声かけするとバイクを止めて挨拶してくれた。(2/19 根本 10)
- ・小学生と高校生の下校が重なり、狭い道では危険を感じた。自転車のルール指導が必要と思う。声をかけると、微笑みと一緒にやわらかな、にこやかな挨拶が返ってきてうれしかった。(2/21 養正 1)
- ・通学路で声かけ。寒い中、下校中の小学生・中学生が元気にあいさつを返してくれた。(2/25 池田 6)

瑞浪地区

- ・寒いせいか19時頃は、駅前以外はどこも人影が少なかった。駅前で帰宅する少年達に声をかけた。(2/8 明世 H)

- ・連休明けの為、生徒会の「あいさつ運動」は中止になったようだが、次期生徒会の投票日ということで、立候補者といっしょに「あいさつ運動」をした。会長候補は女の子で、先生の話では最近女の子のほうが元気があるそうだ。(2/12 陶 E)
- ・駅前で高校生と無職少年の7人に出会う。声かけすると大熊先生の教え子だった。(2/13 瑞浪 A)

センターから

指導活動から声かけ活動へ改めます

3月に入り、今年度の街頭指導も後2か月を切りました。指導員のみなさんの真摯な活動の結果、最近の指導日誌からは、心温まるうれしい報告が増えてきました。あらためて指導員のみなさん方の日頃の指導活動に感謝申し上げます。

青少年がかかえる問題については、ここ数年何回かのピークを経て、現在は落ち着いた状態にあると思います。一部の若者による迷惑行為や不良行為はあるものの、センターの活動結果や多治見警察署管内の補導件数を見ても、確実に減少していることは明らかです。

だからこそ、私たちは今まで以上に、『声かけ活動』に力を注ぐことができる訳です。声かけ活動は、子どもや若者との人間関係をつくる為の基盤づくりです。いざという時、子ども達の話聞き、彼らのいけないところはいけないと諭し、はげまし、温かく見守る為に欠かすことはできません。

各地区の班長会や指導部役員会でも、皆さんから「声かけの大切さを実感した」との声が上がっています。これを機会に街頭での「指導活動」を、目的をよりはっきり意識付するため、「**声かけ活動**」と改めます。

今後とも、一人でも多くの子ども達への「**声かけ活動**」をよろしく願います。

'うれしい' 'おいしい' は伝播する

言葉は雰囲気左右します。だれかが「つまらないなあ」と言えば、自分はそれほどには思っていなくても、少なからずつまらないという気持ちになってしまいます。気持ちが伝播するのです。

逆に、「うれしい」「おいしい」といったいい気持ちも言葉に乗って伝播します。こちらは気持ちよくなる伝播です。自分の使う言葉がどんなふうに伝播しているのか、時々確かめてみたいですね。

「生き方サプリメント101錠」 第1集より 多治見市教育長 村瀬 登志夫氏

この「生き方サプリメント101錠」は平成23年3月より掲載させて頂きました。今回を持ちまして、ひとまず終了とさせていただきます。ご愛読ありがとうございました。

村瀬先生、すてきな贈りものをありがとうございました。感謝申し上げます。